

ほろ中巻ん

309 転送



大崎短歌会

兼題「自由」

「山茶花誌」へ出詠止めし決断の

寂しさ四十五年の歳月の

浜風に寒さ緩むや横瀬の海

この郷よりや春は立つらむ

さらさらと水の流れはおだやかに

水面に揺れる黒き水鳥

父逝きし朝も咲いてた水仙よ

今年も咲きぬ遠き日のまゝ

軒先に餅花飾りちさき手に

福運祈る小正月なり

街の灯が果てたる闇を野良猫と

帰り行きたる霧島の宿

原田葉子

実吉安仁

坂元つる子

本後淑子

井元かず子

山下海征

新聞の「オセモコ欄」に見る俳句

子等の清しき心愛しむ

新たなる生命萌え出す習ひなり

枯野焼けゆく持留川の岸

穂園芳江

馬場みさ

薩摩郷句

兼題「希望ん」

瓦礫中 希望ぬ捨てん 救助隊

(唱) 頑張れ絶対 助くっじ言っ

諸木美舟

産んくれち 希望だ覚えは 無ち吐えっ

(唱) 本まち歯痒いか 口じゃ叶わじ

上村牛歩

ダイエット 希望ぬ掛けっ Mサイズ

(唱) 美人ぬ夢見っ 朝晩バナナ

長重リリー

偏差値が 希望大学く 撥ねつけっ

(唱) 程度を下げっ 仕方無し三流

諸木小春

戦争ん無 平和を希望ん 全世界

(唱) じゃっどじゃっどち 願ごちよい平和

二見愚楽満

高け希望ん 神様達も 請け負わじ

(唱) 無理な事じゃち 見向っもされじ

遠矢耐多

後継者に 希望む掛けたが 養子し這込っ

(唱) 当てが外れっ がっくしい親父

藤元鬼瓦

子供は全部 親ん希望んな 聞っもせじ

(唱) 子供な子供 思ごちやいかじ

満石うらら

大て希望ん 目指せ東大 将来ちや首相

(唱) 親馬鹿じゃがち 周囲て笑るわれっ

西ノ園ひらり

高希望ん そんな点数じゃ とても無理

(唱) 今に見ちよれち 頑張り出た長男

北村虎王